

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)

〒310-0911 水戸市見和1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273

ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>

「目標達成のための一歩」



令和4年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
会長 村岡 博幸

皆様こんにちは。日頃より茨城県私保連に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

前会長の大沼裕子様より引き継ぎ
令和4年度茨城県私保連会長を務めさせていただきました、つくば国際大学高等学校の村岡です。私の在任期間中も新型コロナウイルスは第七波、第八波と猛威を振るいましたが、今年度はすべての事業が予定通りに行われました。茨城県私保連の事業と致しましては、昨年十一月に三年ぶりとなります研修会も開催しました。関東地区私保連の事業では、これも三年ぶりとなる研修会や懇親会等も横浜で開催出来ました。その他、日私学保連のすべての事業も滞りなく行わされました。

さて、最近よく耳にするようになった「SDGs（エス

ディージーズ）」という言葉。テレビや雑誌などでカラフルなパネル状のアイコンを見たことがある人も多いのではないでしょうか？今や全世界の合言葉となっているSDGsとは世界各国が抱える課題に地球規模で取り組み、より暮らしやすく幸せな未来をつくるための目標です。地球規模というと遠い話のように思えますが、SDGsは私たち一人一人に関係のあるテーマです。毎日の暮らしの中で選ぶ行動が目標達成のための一歩となるでしょう。日常生活においても今すぐ出来るSDGsの取り組みとは一体どのようなものか考えてみてはどうでしょうか。SDGsは世界中が注目する国際目標であり、これからの時代を生きる子供達には非常に重要なキーワードです。一人一人が自分のこととして意識し、普段の生活を少しづつ変えることで目標達成に一歩ずつ近づくことが出来るでしょう。そのヒントをより多く与えることが出来るのは、経験豊富な私たち大人だと思います。

これからも私たち保護者は先生方と共に子供達の成長をより一層支援していきたいと思います。今後とも、ご協力をよろしくお願い致します。

県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会(略称「県私保連」)は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和57年、全国私学父母の会(現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成19年には、現在の名称に変更し、発足から一貫して、茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校PTA連合会私学部会(略称「私学部会」)の私学三団体が連携・協調して私立高等学校等経常費助成に関

する請願・陳情の活動をしてまいりました。

平成22年5月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連を設立しました。

県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

令和4年度役員

- 会長……村岡 博幸
(つくば国際大学高等学校PTA会長)
- 副会長……橋本 成
(茨城キリスト教学園中学校肩羊会会长)
- 副会長……横島 義昭
(つくば国際大学高等学校校長)
- 理事……高久秀哉
(水戸葵陵高等学校教育振興会会长)

- 理事……根本 宏美
(聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校後援会会长)
- 監事……大沼 裕子
(鹿島学園高等学校PTA相談役)
- 監事……常井 安文
(鹿島学園高等学校校長)

令和4年度事業報告

1 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会

6月14日	会 場：ホテルレイクビュー水戸	出席者：71名
-------	-----------------	---------

- (1) 説明 「本県の私学助成について」
茨城県総務部総務課私学振興室担当者
- (2) 議事
 - 1 令和3年度事業報告
 - 2 令和3年度収支決算
 - 3 令和4年度役員の選任（案）
 - 4 令和4年度事業計画（案）
 - 5 令和4年度収支予算（案）

全議題について可決された。

2 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連絡協議会理事会（代表者会）神奈川大会

6月24日	会 場：横浜ロイヤルパークホテル	本県出席者：4名
-------	------------------	----------

- 協議報告事項
- 1 関東地区私学保連「会長・副会長」及び日私学保連「理事候補者」の選出について
 - 2 関東地区私学保連令和3年度事業報告及び収支決算報告（案）並びに
令和4年度事業計画及び収支予算（案）について
 - 3 令和4年度関東地区私学保連代表者会及び研修会開催計画（案）
 - 4 次期開催県の決定 埼玉県

全議題について可決された。

3 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連絡協議会代表者会及び研修会神奈川大会

8月26日	会 場：横浜ロイヤルパークホテル	本県出席者：10名
-------	------------------	-----------

- (1) 協議題及び各県活動報告
- (2) 研修会 講演「心に響く言葉を伝えよう」
俳優・朗読座主宰 紺野 美沙子氏



4 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会総会（高知県）

7月7日～8日	会 場：ザ・クラウンパレス新阪急高知	本県出席者：4名
---------	--------------------	----------

総会

(1) 功労者表彰

茨城県の会長を退任された 大沼 裕子様（令和3年度茨城県会長・鹿島学園高等学校）の在任中の功績を称え、日私学保連門傳会長から感謝状が贈られました。

(2) 議事

- 1 令和3年度事業報告
- 2 令和3年度決算報告・同監査報告

- 3 令和4年度事業計画(案)
- 4 令和4年度予算(案)
- 5 令和4・5年度役員(案)
- 6 令和5年度総会・研修会、青少年育成研修会の開催について
全議題について可決された。

(3) 研修会

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 講演I 「私立学校を取り巻く状況について」 | 講師：中高連 吉田会長 |
| 講演II 「文武両道のすすめ」 | 講師：東京大学野球部元監督 浜田 一志氏 |

5 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会青少年育成研修会（愛知県）

11月18日	会 場：名古屋ガーデンパレス	本県出席者：2名
--------	----------------	----------

第1部 講演「私学における学びとは」

講師 桜 直樹 先生(愛知県私学協会会長・東邦学園理事長)

第2部 報告「子どものいのちを守るために

～子どもの自死に対して大人はどう向き合えば良いのか？～

講師 川島 大輔 氏(中京大学心理学部心理学科教授)

私学助成に関する請願・陳情

県私保連は私学協会役員と共に私学助成に関する請願・陳情を行いました。

(1) 11月9日(水) 私学振興全国大会・国會議員への陳情（東京・アルカディア市ヶ谷）

私学助成への保護者の願いと公教育における公私間の様々な格差是正を目指す決議が行われ、閉会後は大会決議をもって県選出国会議員への陳情を行いました。

(2) 10月31日(月) 县議会・自民党県連への請願・陳情

(3) 11月11日(金) 県知事・県総務部長への陳情

【要望事項】

- 1 経常費補助金について
- 2 高等学校等授業料減免事業の拡充について
- 3 教職員研修に対する支援について
- 4 新型コロナウイルスの影響に対する
保護者支援について



請願審査結果

県私保連が私学協会とともに県議会議長に提出した「令和5年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願」が採択された旨の通知を令和4年11月16日付で同議長よりいただきました。

県私保連研修会

11月15日

会 場：ホテルレイクビュー水戸

参加者数：86名

茨城県内の私立中学校・高等学校の保護者・教職員が参加して県私保連研修会を開催しました。

株式会社坂東太郎代表取締役会長 青谷洋治先生に「家族のあり方を考え子どもたちとともに幸せを考える」という演題で講演をいただきました。

令和4年度 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会研修会



表彰

功労者表彰

毎年度、会員保護者会及び県私保連の役員を退任された方の在任中の功績を称える表彰を行っています。令和4年度は各会員保護者会会長からの推薦による功労表彰26名並びに県私保連役員等への特別功労表彰7名の計33名に感謝状を授与しました。

● 功労（会員保護者会）

茨城キリスト教学園中学校 池澤 健
大成女子高等学校 塚田律子
茨城高等学校・中学校 笹目信次郎
水城高等学校 網代進一
清真学園高等学校・中学校 方波見和彦
清真学園高等学校・中学校 今泉宏通
岩瀬日本大学高等学校 保科晃克
つくば国際大学高等学校 渡邊祐生
つくば国際大学高等学校 仁田和夏子
霞ヶ浦高等学校 木村浩樹
霞ヶ浦高等学校 松川木綿子
霞ヶ浦高等学校 中山修一
霞ヶ浦高等学校 本田晃一
霞ヶ浦高等学校 宮島章
霞ヶ浦高等学校 橋本香織
霞ヶ浦高等学校 石嶋明美
土浦日本大学高等学校 中泉栄一
土浦日本大学高等学校 市村進

土浦日本大学高等学校 藤井秀之
東洋大学附属牛久中学校・高等学校 渡辺勲
江戸川学園取手中・高等学校 関根雅之
常総学院中学校・高等学校 吉田正一
常総学院中学校・高等学校 丸山香織
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校 岡部麻里子
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校 寺田明子
つくば秀英高等学校 関優嗣
(敬称略)

● 特別功労（県私保連役員等）

早瀬純子 会長・副会長・監事
岩瀬日本大学高等学校 岩瀬邦孝 副会長・監事
吉田邦孝 副会長・監事
岩瀬日本大学高等学校 山内健二 副会長
つくば国際大学高等学校 石塚孝男 副会長
鹿島学園高等学校 軍司雅明 理事
常磐大学高等学校 會田愛子 理事
土浦日本大学中等教育学校 三代哲 幹事
岩瀬日本大学高等学校 (敬称略)

善行生徒表彰

県私保連加盟校の校長からの推薦により、他の模範となる活動をした個人12名と1グループを称える善行生徒表彰を行いました。表彰式は中止となりましたが、各校の校長先生から表彰状を授与していただきました。

個人表彰

12名

茨城キリスト教学園高等学校 時崎結子

大成女子高等学校 濱本碧生

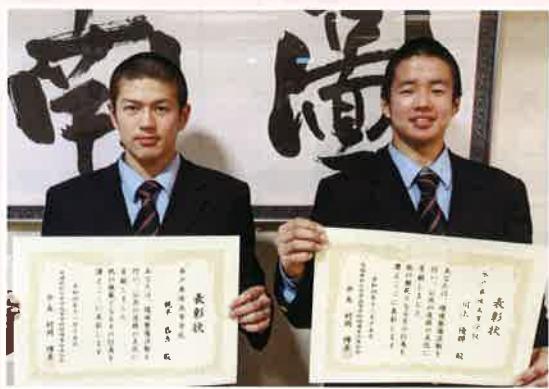


茨城高等学校 久保田 琉 聖



水戸葵陵高等学校 川 上 優 輝

水戸葵陵高等学校 梶 平 恭 吾



つくば国際大学高等学校 山 内 祥



水城高等学校 軍 司 遥



常磐大学高等学校 橋 本 真 実

常磐大学高等学校 安 嶋 純 和

常磐大学高等学校 中 野 陽 依



常総学院高等学校 北 唯 乃



グループ表彰

1 グループ

● 茨城キリスト教学園高等学校 インターアクトクラブ



私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介

私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されています。

令和5年度は高校生1人当たり377,532円（中等教育学校後期課程同額）・中学生1人当たり346,101円（中等教育学校前期課程同額）の予算が措置されました。

なお、補助金の配分は、学校の規模（生徒数、教職員）等により算定した金額を交付しています。

（生徒1人当たりの補助金予算単価の推移）

学校種	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高等学校	368,334円	373,415円	377,532円
中等教育学校	後期		
	前期		
中学校	337,153円	342,149円	346,101円
通信制高等学校（狭域通信制）	80,082円	80,082円	80,988円

注) 通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は国からの直接補助になります。

私立高等学校等就学支援金

家庭の経済状況に関わらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されています。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収約910万円未満の世帯に、月額9,900円（年額118,800円・県立の授業料相当分）支給されます。
- ・年収約590万円未満の世帯については、月額33,000円（年額396,000円）を上限に支援金が支給されます。

保護者の年収の目安	支給額上限（年額）
590万円未満	396,000円
590～910万円未満	118,800円
910万円以上	—

※年収は、保護者の内どちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の場合の目安です。また、保護者等の負傷・疾病による療養や災害による被災により勤務できない場合や、その他自己の責めに帰することのできない理由による離職などにより、従前得ていた収入を得ることができない世帯（※）について、支援金が支給されます。（支給額上限：月額33,000円）

※年収が、約590万円未満まで減少する見込みの世帯

私立高等学校等授業料等減免事業

経済的理由により授業料等の納入が困難な児童、生徒を対象に授業料等の軽減措置を行う学校法人に対して県から補助金が交付されています。

注) 私立学校によっては、独自の奨学金制度を実施していることなどから、本事業を実施していない場合があります。

○入学金軽減事業（高等学校全日制課程等向け）

保護者の年収の目安	補助区分	補助上限額
350万円未満	入学金	96,000円
350万円～590万円未満	入学金	48,000円

○授業料軽減事業（中学校・中等教育学校前期課程向け）

保護者の年収の条件	補助区分	補助上限額
400万円未満	授業料	302,400円
家計急変世帯向け	授業料	336,000円

私立高等学校等奨学給付金

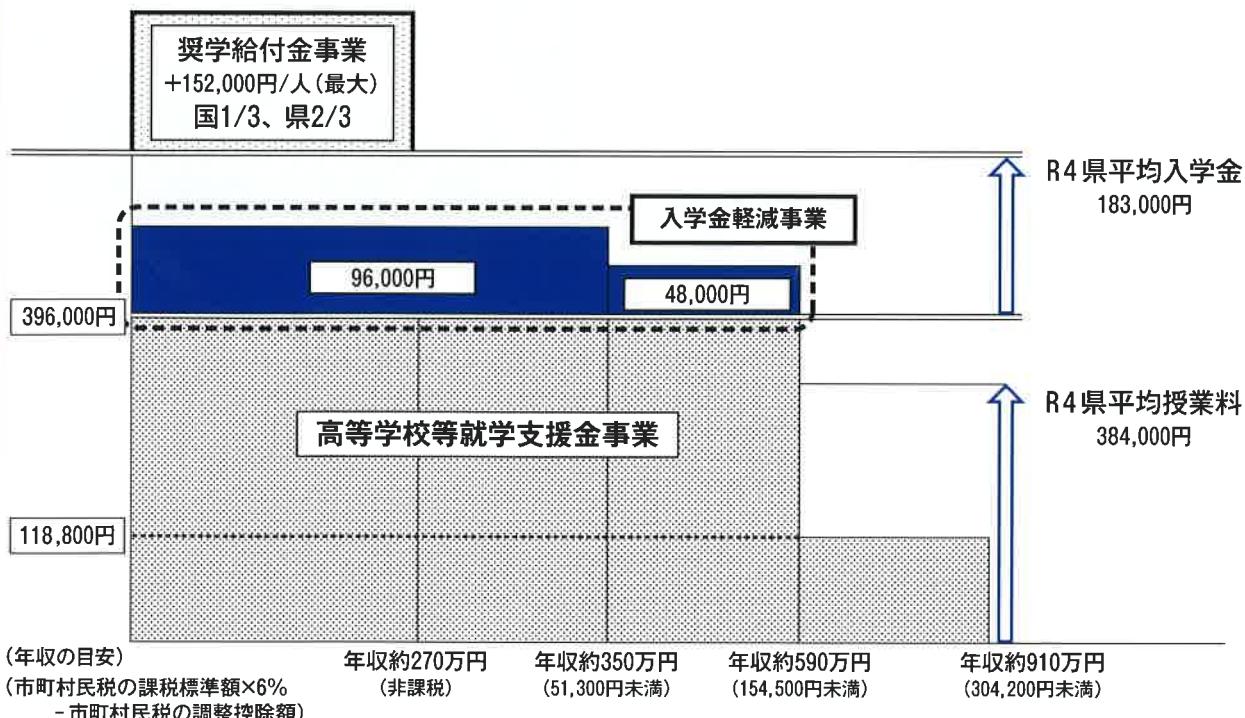
すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（市町村民税所得割額が非課税の世帯）の生徒に対して奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費等）が県から支給されています。

注）保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。

世帯区分	支給額
生活保護受給世帯（全日制等・通信制）	52,600円
非課税世帯（全日制等（第1子））	137,600円
非課税世帯（全日制等（第2子以降））	152,000円
非課税世帯（通信制）	52,100円
生活保護・非課税世帯（専攻科）	52,100円

参考

私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図 (高等学校全日制の場合)



会員校紹介

水戸葵陵高等学校

創立39年目を迎えた本校は、建学の精神「国を愛し、人を愛し、平和を愛し」に基づき、「文武不岐」を教育方針に掲げ、新しい伝統と歴史を創造しようという活気と熱意にあふれています。

現在、2023年度入試においても医学部医学科現役合格者を輩出するなど、進学校としての実績を着実に築きあげています。また、スポーツにおいては、剣道部（インターハイ全国優勝団体2度・個人4度）をはじめ、柔道部やサッカー部、野球部など、14の部が活躍しています。一方、文化部も18の部が大いに盛り上がっており、書道部が全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ準優勝、将棋部が全国大会5位入賞しています。

本校の保護者会は、教育振興会と申します。教育振興会の主な活動は、卒業式終了後に行われる「卒

業記念パーティー」の企画・運営です。令和4年度は、4年ぶりに卒業記念パーティーを実施することができました。卒業という大きな節目を祝って、生徒・保護者の皆さんと教職員が一堂に会して和気藹々と交流し、思い出をつくる場にしたい、という思いが込められております。今後も保護者の皆さんとともに、生徒のために、学校発展のために、より有意義な活動を実践して参ります。



聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

本校は東京聖徳学園創立50周年事業として昭和58年に誕生しました。学園は創立以来「和」の精神を建学の理念とし、人間教育の実現に努めています。思いやり・やさしさ・協調性といった心を育て、芯のしっかりとした女性を送り出したいという想いを具現化しています。さらに、自らの未来を自身で切り拓いていく女性の育成を目指し、探究・グローバル・協働に重点を置いた教育の推進を行っています。探究では、心の中にある、知りたいと感じたテーマを掘り下げ、考え、まとめ、発信力を身につけさせます。興味あることを自分自身で調べ、仲間と対話し、振り返りを行いながら、学習を深めています。

本校には、保護者と教職員で構成される「後援会」があり、教育活動を支援しています。本校の隆盛と発展を期するために活動を行い、本校と会員及び会

員相互の協調と親和を図っています。本部役員会・評議員会の他、各種委員会や同好会等もあり、熱心に活動しています。学び合い、実践する後援会活動というスローガンのもとで、活動の充実を図っています。学校からのお知らせはMicrosoft Teams を導入し、全てペーパーレスになりました。保護者と学校の連絡もスムーズになり、大きな効果を上げています。



会員 令和5年4月現在 26保護者会

明秀学園日立高等学校・茨城キリスト教学園高等学校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高等学校・常磐大学高等学校・茨城高等学校中学校・水戸女子高等学校・水戸啓明高等学校・水城高等学校・水戸葵陵高等学校・水戸英宏中学校・清真学園高等学校中学校・鹿島学園高等学校・岩瀬日本大学高等学校・つくば国際大学高等学校・霞ヶ浦高等学校・霞ヶ浦高等学校附属中学校・土浦日本大学高等学校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久中学校高等学校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・江戸川学園取手中・高等学校・常総学院中学校高等学校・聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校・茗溪学園中学校高等学校・つくば秀英高等学校

令和5年度の活動予定

- 6月 15日(木) 県私保連総会(水戸)
- 6月 30日(金) 関東地区私学保連理事会(埼玉)
- 7月 13日(木)～ 14日(金) 日私学保連総会・研修会(兵庫)
- 8月 25日(金) 関東地区私学保連代表者会及び研修会(埼玉)
- 11月 1日(水) 私学振興全国大会(東京)
- 11月 15日(水) 県私保連研修会(水戸)
- 11月 17日(金) 日私学保連青少年研修会(岩手)

編集後記

「私学いばらき」第13号をお届けいたします。2020年から続くコロナ禍にもようやく明るい兆しが見えてきました。これからも、私学助成の拡充と保護者の教育費負担の軽減に向けての運動にますます邁進しましょう。発行にあたり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。